



## コイノニア教育センター

2013年11月

ニュースレターNo. 26

### レッドヒルの新入生たち

コイノニアがキバガレからレッドヒルに移転してもうすぐ3年がたちます。9月に初めて近隣の子どもたちを受け入れました。現在ナイロビのスラムはNGOが殺到してプロジェクトを展開しています。コイノニアを始めたころ、キバガレ・スラムにはカトリックの学校が一つと、小さな幼稚園が2つあるだけでした。キバガレにも現在は学校、スポーツ、保険衛生やHIVエイズ、などのプログラムをするNGOが次々とやってきて活動しています。現在コイノニアがあるレッドヒルという地域は、大きなお茶畑やヨーロッパに輸出する花を大量栽培する大きな農園があり肥沃な土地です。しかし、その中に点在して貧しい家族が多く暮らしていることがわかりました。スラムのように集中して住んでいないために特別な援助は届いていません。花農園での労働はほとんどが短期の臨時雇用で、それ以外の時はほとんど職がない人々が多くいます。また、若いシングルマザーも多く高校を出ても仕事がなく苦勞しつつ子どもを育てています。



9月に11人が入学してきました。1年生1名、年長1名、4歳児4名、3歳児5名です。この中で両親が揃っているのは3名だけです。残りはすべてシングルマザーの子どもたちです。そしておばあさん達と住んでいます。キバガレ・スラムから通ってくる子どもたちよりも、貧しい生活をしている家庭もあります。しかし健康診断の結果、皆比較的健康でした。貧しくても小さな場所を使って野菜を作り、牛のミルクを飲んでいるからでしょうか？

コイノニアが現在レッドヒルに教育現場が与えられているのは、神さまからこの地域に住む人たちにも仕えなさいと、言われているのだと信じています。

### ハイスクールの生徒たち

9月からハイスクールの生徒は12名になりました。進路についても具体的に考える年齢になってきました。それぞれが自分の得意な分野を見つけ、それをどのように生かして将来の職業につなげたらよいかを考え始めています。スラムでは、自分が憧れたり、理想とするような人に出会うことは極めてまれです。コイノニアで学んでいることと、スラムで目にするモラルが崩れた現実が大きなギャップとなり、生徒たちの心の中でせめぎ合っています。それはあたかも、聖書の言葉と、悪のささやきとの戦いの様です。

「フェリシア」は真面目に勉強に取り組み、着実に学力を伸ばしています。フルートを熱心に練習し、来年イギリスの音楽レベル試験を受けるために準備を始めました。下級生からも慕われている優しいコイノニアのお姉さんです。



「マイケル」はハイスクールの中で一番勉強が進んでいきますが、進路についてはまだ自分が何をしたいのかが分からず悩んでいます。理科系が強いのでそれを生かしてはどうかと先生たちはアドバイスをしています。家庭環境は厳しく、母子家庭で、お母さんが売る野菜の売り上げ一日200円で家族4人が生活しています。現実の世界が見えてきている彼の態度は時にあきらめと、投げやりな思いに支配されてしまいます。希望を持って学び続けられるために、教師たちは一生懸命に励ましたり、叱ったりと彼に関わっています。

「リッジ」は中学3年生ですが、学力は6年生レベルです。それでも彼なりに頑張っていて進んでいます。それはコイノニアがACE（アクセラレイテッド・クリスチャン・エジュケーション）というプログラムを使い、それぞれの生徒が自分のペースで勉強することができるからです。一般教科では彼はいつも苦勞していますが、美術は最も得意な分野です。美術の先生から習う様々なテクニックを使って描く彼の絵はとても味があります。将来はデザイナーになりたいと思っています。シングルマザーの母親は「リッジがコイノニア以外の学校へ行っていたならばとっくに学校をやめていたと思う。コイノニアで彼が今でも勉強を続けられていることに本当に感謝している」と話しています。彼女はリッジが勉強が得意でないことを受け入れつつ、彼が持っている才能を生かして、将来社会の中できちんと生きられる人に成長して欲しいと期待をしています。

### 感謝とお願い

この1年間も皆様からの多くのお祈りとご支援によって、コイノニアを続けていくことができ、心から感謝いたします。教育内容をより向上させたいと願えば、必要は増えます。しかし、与えられた中で最善を尽くすことを学んできました。コイノニアの子どもたちが、与えられることに慣れてしまわないように、いつも感謝をもって生活できるように指導することは決して簡単ではありません。皆様から受けた御支援を決して無駄にしないために、スタッフ一同日々細心の心使いを持ってコイノニアの働きに関わっています。

コイノニアが託された子どもたちへの教育をこれからも続けられるために、献金をお願いいたします。特にこの年末、先生たちに給料が滞りなく支払えるために、お祈りとご協力をお願いいたします。

日本での支援窓口  
ケニア・コイノニア友の会ジャパン 郵便局振替口座 00110-3-291395  
会計担当：高倉もも代 TEL:03-3961-9685

### コイノニア・カレンダー 2014年版

お申し込みは「ケニア・コイノニア友の会ジャパン」事務所までお願いいたします。

〒173-0004 東京都板橋区板橋3-32-1 TEL: 03-3961-9685 [koinonia.kenya.j@gmail.com](mailto:koinonia.kenya.j@gmail.com)

### コイノニアの歩みを記した本

「虹を駆ける天使たち」(ナイロビの子どもたちと共に) 著者—市橋さら

出版社—日本基督教団出版局 1600円です。最寄りの書店で注文してください。

コイノニア教育センター連絡先：E-mail [ichihashi@kcf.or.ke](mailto:ichihashi@kcf.or.ke) HP <http://www.kdn.ne.jp/~amani/>  
HP [www.koinoniaeducationcentre.or.ke](http://www.koinoniaeducationcentre.or.ke)

現地責任者 - 市橋隆雄、市橋さら :Tel: 254-733-750469, 254-733-608790